



日動労千葉

国鉄千葉動力車労働組合

〒260 千葉市中央区要町2番8号(動力車会館)

電話 (鉄電) 千葉 2935・2936 番
(公) 043 (222) 7207 番

93.3.17 No.3758

93春闘勝利!格差拡大粉碎! 原職奪還実現!

春季第2波第3波闘争戦術決定

3月16日第4回

支部代表者会議
で確認!!

二・一九春季第一波闘争の地平を引き継ぎ、春季第二波・第三波闘争の戦術が、三月一六日、第四回支部代表者会議において確認された。(戦術概要別掲)

この春季第二波・第三波闘争を通して獲得すべき課題は、第一に、動労千葉と「JR体制」との、最大の組織対立となつてゐる、強制配転者の原職復帰の実現を、何がなんでも目に見えぬ形で奪還することにある。

人活センター設置から七年、八九年秋の「塩づけ」の始まりから数えても四年、もはや強制配転者の怒りは沸騰点を大きく越えている。

この間の差別・選別登用は、三八名にものぼり、現在習志野運輸区で行なわれている、運転士見習い八名の三月末見習い終了後、発令が強行されればのべ四六名が運転士に登用されたことになるのだ。

一方、九一年度から再開された新規採用者は、なんとたった一年で五二名が車掌に登用され、三年後には運転士の要員として促成的に養成されようとしている。(この期間さえ短縮する動きにさえあるのだ)

これが何を意味しているのか、あまりにも明らかだ! 運転からの動労千葉の排除! 習志野運輸

区・京葉運輸区の「聖域化」工作の要員であり、「塩づけ」継続のための要員としての位置を持つものなのだ!

ここに原職奪還の闘いは、強制配転者のみの問題でなく、「聖域化」配転攻撃との二重の意味を持つものとして、全組合員共通の課題となつたのだ!

第二の課題は、今春季闘争を貫く最大の獲得目標である、大幅賃上げ獲得! 貨物への格差拡大攻撃を粉碎することにある。

新小岩・佐倉両支部が突破口を拓いた春季第一波ストの地平を、さらに押し上げ、貨物の怒りを共有する闘いに、全組合員が立ちあがろう!

春季第二波「三・二五ストライキ」へ!

春季第三波「四・一」ストライキへ!

闘いを告げる鐘の音を、さらに共鳴させよう!

闘いの課題

- (1) 42,000円の大幅賃上げ獲得、格差攻撃粉碎、貨物会社における「生活改善一時金」獲得。真の労働時間短縮実現。
- (2) 一切の不当差別撤廃、全ての強制配転者の原職復帰実現。
- (3) 安全を解体する大合理化攻撃粉碎。

闘いの配置

三・二五春季第二波ストライキ

(1) スト対象者及び対象時間

- ① 営業関係強制配転者を対象とする、一五時以降の時限ストライキ(スト対象時間については個別に指示する)
- ② 習志野運輸区、幕張電車区及び幕張電車区木更津支区の日勤者(地上勤務者)を対象とする、終業時前一時間の時限ストライキ

(2) 「九三春闘勝利・格差攻撃粉碎、原職復帰実現、第二波・第三波スト貫徹、動労千葉総決起集会」

千葉市民会館小ホールにて同日一七時三〇分開催!

四・一〜二春季第三波ストライキ

(1) スト対象者及び対象時間

- ① 全本線運転士を対象とする四月一日正午より四月二日正午までのストライキ(但し貨物・いすみ鉄道を除く)
- ② 新小岩支部及び佐倉支部の全日勤者(地上勤務者)を対象とする、終業時前一時間の時限ストライキ
- ③ 営業関係強制配転者を対象とする、一六時より終業時までの時限ストライキ(但し、泊勤務者を除く)

(2) 「スト貫徹、動労千葉総決起集会」

千葉市民会館小ホールにて同日一七時三〇分開催!

新小岩支部、津田沼支部、幕張支部、千葉転支部、京葉支部、総武支部、佐倉支部は同集会に結集すること。その他支部については、同時刻を目途に、各拠点ごとに総決起集会を開催すること。